



令和4年度に向けて

松浜病院 病院長 小 熊 隆 夫

コロナ禍の中、心配されていた東京オリンピック・パラリンピックは成功裏に終了し、その半年後の今年2月には北京オリンピックが開催されました。日本選手の活躍は皆様の記憶にも新しいことと思います。そのような平和の祭典の裏では、ミャンマーのクーデターや、アフガニスタンでのタリバン政権の復活、ロシアのウクライナへの軍事侵攻など世界全体が不穏な空気に包まれています。日本でも北朝鮮をはじめとした近隣諸国との外交問題は一向に解決への道を見いだせずにあります。

大きな不安を感じることの多い中、昨年よく耳にした言葉は「SDGs：(Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標」でした。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。この目標自体は2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されたものですが、わが国で頻りに聞かれるようになったのは昨年からではないでしょうか。いつまでも続く感染症への不安や社会生活の急激な変化、不安定な世情、気候変動による大規模な災害の発生など、多くの国民がこのままではいけないと感じたからではないかと思えます。17のゴールの中には我が国ですでに達成されて

いると考えられるものもありますが、それぞれのゴールを見ると、世界には実に様々な問題があるのだと気付かされます。わが身のこと、自国のことだけを考えるのではなく、他者のこと、日本以外の世界に目を向けた行動が必要なのだとあらためて考え直す一年でありました。

コロナ禍の終息は中々見通せませんが、ワクチン接種、治療薬の開発が進む中で、感染への不安は幾分和らいでおります。今後も感染対策を徹底し、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。当院を利用される皆さまには面会の制限など何かとご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、患者さま及びご家族の皆さまには既にお伝えしておりますが、昨今の患者数の減少や人員確保の問題などの諸事情を考慮し、今年度より病棟機能を再編し6病棟で運営していくこととなりました。新しい体制の下、今後も社会や医療の動向を注視し、患者さまに寄り添い必要な医療とは何かを常に意識しながら、当院に関係する全ての人々の人権を尊重しつつ質の高い医療サービスを提供してより一層信頼される病院を目指します。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

<松浜病院の中長期的展望>

- 1) 若手人材の確保と育成を行なう
- 2) チーム医療の推進と診療の質の向上を目指す
- 3) 栄養科施設を含めた新病棟の整備を行なう
- 4) 情報システム機能の円滑な運用を行なう
- 5) 外来機能を集約して外来部門として統合する
- 6) 急性期病棟を含め6病棟に再編する

<松浜病院の令和4年度目標>

- 1) 病棟再編に伴い適切な病床管理を行うとともに、チーム医療を通じて病床利用率及び回転率の向上を図る
- 2) 病診連携を強化するなどして、長期入院患者の退院促進を進め、地域移行機能強化病棟の安定的運用を図る
- 3) 感染症対策を徹底して、感染予防に努める
- 4) 迅速で正確かつ安全に心がけ職務を実行する
- 5) より良い接遇を行い、患者サービスの向上を目指す
- 6) 職務の中での経費・時間の節約と効率的な利用を行う
- 7) 若手人材の確保と育成を行うとともに、全職員の教育・技能向上を援助する



作業療法室からのお知らせ⑥

OCCUPATIONAL THERAPY

作業療法室 室長 近 英 樹

突然ですが、皆さまはどの様に歩いていますか？現在、外来OT（外来リハビリテーション）ではウォーキングが人気です。ただ歩くのではなく、何とモデルさんのように美しく見せるように歩いています。人は高齢化や傷病により支持基底面（図参照）が大きくなり、そして杖をつき、歩行器、車椅子となります。その支持基底面の小さな歩き方（モデルさんの歩き方）を身につけることで長く美しく歩けます。では簡単ではありますがその歩き方をご説明します。

- ①かかとを着けて上にしっかり背伸びをします。
 - ②肩と腕だけ力を抜いて下におろします。
 - ③足跡が直線上に並ぶように歩きます。
- （例：道路の白線から足跡がはみ出さないように）



これでモデルさんの歩き方に近づきます。不安定ですがお腹やお尻の筋肉を使ってスタスタと歩けるようにしましょう。美しく歩くことで見た目も良くなり気分良くお出かけできます。



～院内プログラム紹介～

「ふまねっと」という名の認知機能の改善から歩行安定を図ることを目的としたプログラムです。リズムに合わせて網の目を歩くことで楽しく歩行訓練ができます。



たまには昔ながらの『食事』と『時間』を

リモート授業、オンライン会議、キャッシュレス決済・・・近未来小説で見た世界は、2年の感染対策を経て、すっかり私達の日常になりました。人が直接動かなくても解決できる今の暮らしはとても便利で効率的ですが、反面「ヒトが本来持つチカラ」を発揮する機会を、徐々に失っている気がします。ファストフードが増えれば栄養素は偏りがちになります。運動不足、スマホによる眼精疲労など、便利さは新たな疲労感を生み出しています。たまにはスマホをお休みして、和食や自然散策でのんびりと、昔ながらの食事と時間を楽しみませんか？

本日の給食

鰯の苦味が嬉しい「鰯の鰯味噌焼き」に噛み応えのある「豆とゴボウの胡麻和え」、梅の酸味が爽やかな「梅と菜花のちらし寿司」、温かくて出汁の香りが嬉しい「根菜汁」です。昔ながらの和食献立は、私達の五感を程よく刺激してくれます。EPA、DHA、食物繊維、亜鉛などの栄養素も豊富です。



医療相談室から

こんにちは

今回は、ケースワーカーの福島さんに質問しました。

Q はじめに、自己紹介をお願いします☆

A 令和2年の4月より松浜病院でケースワーカーとして働いております、福島と申します。前職は施設で働いていました。まだまだ新人ですが、よろしくお祈りします。

Q 普段はどんなお仕事をされるのですか？

A 現在、地域移行機能強化病棟の専従ケースワーカーとして長期入院の方の退院支援を中心に行っています。退院後に、患者様家族様が安心して生活ができるようにサービスの調整に努めています。初めて知ることも多く、周りの方に助けてもらいながら日々奮闘しています。患者様との会話に和ませて頂くことも多くあり、業務の中の癒しです（^-^）

Q 最後にお勧めの健康法を教えてください。

A 少しでも体にいいおやつを食べるようにしています。最初は市販の低糖質のクッキーやナッツを食べていましたが、最近では青汁を使ったシフォンケーキやおからのクッキーを作りました！！手作りだとカロリー計算ができないので、健康的かどうかは分かりませんが・・・（笑）お勧めのおやつがあれば教えてください！



☆これからも地域連携室・医療相談室一同皆様のお役に立てるように努めていきたいと思っております。

デイケアセンター あっと歩夢

当院デイケアでは、様々なプログラムを通して、規則正しい生活リズムの習得や日常生活上必要となる知識や技術、集団の中での対人関係を学ぶことができます。地域で自分らしく生活できることが継続できるよう、医師、看護師、認定心理士、精神保健福祉士などの多職種スタッフにより、患者様の社会復帰のお手伝いや日常生活のサポートを行なっています。

各種プログラムの他、気分障害（うつ病）などで休職をしている方を対象とした「リワークプログラム（復職支援プログラム）」も行ってまいります。また、デイケアのない病院やクリニック通院中の患者様も主治医を変更せずに当院デイケアを利用することができます。



デイケアの活動内容としては、スポーツ、調理、手芸、お菓子作り、ガーデニング、栄養士やケースワーカーによる勉強会、季節の行事、バス旅行など、患者様の目的に応じたプログラムの提供や、就労を目指している方に向け、就労準備支援も行なっております。



＜お問い合わせ先＞ 松浜病院デイケアセンター **あっと歩夢** ☎ 025-258-8012（直通）

看護部だより

一年を振り返って

看護部東4病棟 服部 朗人

私が松浜病院に准看護師として入社してから、もうすぐ一年が経とうとしています。本当に色々な事があり、あっという間に過ぎていった一年でした。

最初は病棟の1日の流れをつかむことや、新しい看護技術を覚える事に精一杯でした。その中で患者様とうまくコミュニケーションがとれず対応できないことがあったり、個別性に合わせた看護が提供できずに困った事もありました。それでもプリセプターをはじめとする先輩方に、アドバイスと温かい応援の言葉をいただいていた今日まで来る事ができました。先輩方が難なくこなしているように見える処置やケアも、当初の自分には本当に身につけていけるのか不安でしたが、振り返ってみると一年前よりは前に進んでいる気がします。

今後は患者様を多角的に診て、よりその人に合った看護を行っていきたいと思います。そのためには患者様の現在の状態や既往歴、内服している薬剤、病棟での人間関係など様々な事に気がつき、アセスメントしていけるようになる必要があると感じています。知識を深め、技術を身につけて、何が起きてても対処していけるように、成長していきたいと思っています。

一年を振り返って、今思うこと

看護部東1病棟 田邊 彩

東1病棟に配属になり、そこから一年が経とうとしています。今思うと、あっという間で、とても充実した1年間でした。

主に身体合併症のある患者様、そして寝たきりで高齢の方が多いため、患者様自ら話すことが出来ない分、客観的に観察する能力、病気に関する様々な知識などが必要であると感じ、私は何を観察し、どう看護に繋げていけば良いのか戸惑いの日々で不安と緊張しかありませんでした。しかし、プリセプターをはじめ周りの先輩方が親身になり、看護技術から患者様への対応、日々の業務など一つ一つ丁寧に教えてくださり、できる事が少しずつ増え1年を通して成長できたのではないかと思います。

勉強不足でわからない事も多くありますがこれからも学ぶ努力を忘れず思いやりと、笑顔を大切に看護の仕事に携わっていきたいです。

松浜病院 外来診療担当表

(2022年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
精神科	小林	小熊	野澤	小林	小熊
	野澤	佐々木	須田	須田	佐々木
			新藤		
内科	藤島		長谷川(勝)		藤島

【診療受付】 8:50~11:00 初診の方
(月)~(金) 8:50~11:30 再診の方

【休診日】 土・日曜日と祝日

【精神科の診療は予約制です】

診療をご希望の方は、電話などで前日までにご予約を入れてください。
ご不明な点がございましたら医事課受付までお問い合わせください。

【予約やお問い合わせ先】

☎ 025-259-3241 (医事課)



奨学金制度のご案内

(看護師を志す学生の方へ)

松浜病院では将来看護師として松浜病院に勤務する意志のある看護学生に対して2種類の援助をしています。

①奨学金貸与

看護師養成施設(看護大学を含む)に在学する期間、月額8万円を貸与します。尚、資格取得後松浜病院に貸与期間と同じ期間勤務すると返済を免除します。

②学資金貸与

養成施設に在学する期間、月額4~6万円の学資金を貸し付けます。尚、この学資金分については松浜病院勤務後、元金のみ分割で返済していただきます。

上記①・②を併用すると月額最高14万円となり、勉学の助けになるものと思います。

募集定員もありますので応募の可否も含め詳細は、下記担当者にお問い合わせください。

(平日9:00~17:00)

担当：松浜病院事務部長 野口

☎ 025-258-4501

注) 准看護師養成施設は、①の奨学金貸与制度は対象外です。

介護老人保健施設 松浜さくら園

松浜さくら園には一般棟と認知症棟の2つの入所フロアがあり、松浜病院の本館に併設されています。どちらのフロアも温かい言葉かけと優しいスキンシップ、安心・安全な看護・介護・リハビリテーションを目指し、日々ご利用者様と関わらせて頂いております。

一般棟と認知症棟ともに、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれご利用者様の身体機能、認知機能の状態に合わせた個別リハビリテーションを行い、在宅療養支援に努めています。

イギリスのビバリッジ報告で有名な“ゆりかごから墓場まで”という言葉があります。さくら園としては、入所前から退所後まで利用者様とご家族様の支援をさせて頂いております。介護や制度等で困りの事も多々あると思います。是非お気軽に声を掛けて頂き、相談をしながら、一緒に問題解決に向けて二人三脚で歩いていけたらと、常に心がけて相談援助を行なっておりますので、いつでも事務所にお立ち寄り下さい。

○お問い合わせ先

☎ 025-258-3993 (9:00~17:00)

FAX 025-258-3991

※お気軽にお問い合わせ下さい。

◎文字推理

□にひらがなを入れて、文章を完成させましょう。
ただし、同じ数字の□には同じひらがなが入ります。

- ・ ② ③ の整理をする
- ・ 自分 ③ し ① を大切にする
- ・ 庭の ② ① 取りをする

答え ① ② ③

※ 解答は編集後記の下にあります。

編集後記

心の翼第17号が完成しました。今年度は病棟再編という大きな改革がありますが、患者さま、利用者さま、地域のみなさまにこれまで以上に貢献できるような、そんな病院を目指していく所存でございます。心の翼で松浜病院・松浜さくら園の活動を広く知ってもらい、みなさまと一緒に患者さま、利用者さまの明るい未来づくりに邁進します。今後ともよろしく願います。

編集発行 松浜病院 広報委員会

☎ 025-258-8009